

# 【11月・2歳児・高月齢】

ほいくのおまもりプラス

|                  | Aさん(高月齢/男児/活発)<br>(3歳7カ月/4月生まれ)  | Bさん(高月齢/女児/活発)<br>(3歳6カ月/5月生まれ)  | Cさん(高月齢/男児/静か)<br>(3歳5カ月/6月生まれ) | Dさん(高月齢/女児/静か)<br>(3歳4カ月/7月生まれ) |
|------------------|--|--|---------------------------------|---------------------------------|
| 子どもの姿            | 1. うがいが上手くできず、服を濡らしてしまったり、口に含んだ水を飲んだりしてしまう。<br>2. 友だちに「一緒に遊ぼう」と声を掛けながら、ごっこ遊びやかかけっこ等を楽しんでいる。<br>3. 母の仕事の都合で今までよりも早い登園になった。日中は笑顔で過ごしているが、登園時は「行きたくない」と母から離れられない姿が見られている。                                 | 1. お気に入りのパンツを穿くことを喜んでいる。「おしっこ行く」と尿意を知らせる姿が増えてきた。<br>2. はさみを使った制作遊びや折り紙等、新しい遊びに興味を示し「Bちゃんもやる」と保育者と一緒に楽しんでいた。<br>3. 保育者の真似をして友だちに対して絵本を読んだり、「保育園ごっこ」をする姿が見られている。   |                                 |                                 |
| ねらい              | 1. うがいの仕方を知る<br>2. ごっこ遊びを通して、言葉で思いを伝え合うことの楽しさを味わう  | 1. 自分からトイレに行き、排泄する<br>2. 制作遊びに興味を持ち、切ったり貼ったりする楽しさを味わう  |                                 |                                 |
| 内容               | 1. 保育者に見守られながら、うがいを自分ですようとす。<br>2. 友だちや保育者と言葉のやり取りを楽しむ。  | 1. 尿意を保育者に知らせ、自分からトイレに向かおうとする。<br>2. 友だちや保育者と誘い合いながら、制作遊びを楽しむ。   |                                 |                                 |
| 環境構成<br>配慮<br>援助 | 1. 絵本や絵でガラガラうがいのやり方を伝えたり、保育者が見本を見せながら知らせていく。「ガラガラしたら、お水はバイバイだよ」等、わかりやすく声掛けしながら伝えるように心がける。<br>2. 保育者も一緒に遊びに入り、「いらっしやいませ」「どうぞ」等の言葉のやり取りを楽しみ、場面を共有できるようにする。ごっこ遊びに必要なものを作りながら楽しめるよう、新聞紙や布等の素材や道具を用意する。     | 1. 本児から尿意を伝えられた時には、大いに褒めて自信に繋がるように関わる。パンツを穿くことを喜んでいるため「今日はどのパンツを穿こうか？」等、楽しい気持ちでトイレトレーニングを進められるよう声掛けをする。<br>2. はさみを使う際は、保育士が必ず傍に付きながら危険のないように留意する。本児が興味を持った制作遊び等とともに楽しみながら、「きれいに切れたね」「Bさんは何色が好きかな？」等、楽しさが伝わる声掛けをしていく。 |                                 |                                 |
| 食事               | ・フォークの持ち方は身に付いてきているが、周りの友だちとのおしゃべりが楽しく、食事が進まない。<br>・楽しい雰囲気大切にしつつ、食事が進まない時には「次は何を食べようか？」等と声を掛け、食事への意欲を持てるように関わる。  | ・完食したことを喜び、友だちや保育者に皿を見せて知らせる姿が見られる。<br>・意欲的に食事をする姿を認め、自分で完食できた喜びに共感していくことで、自信や自己肯定感を持てるような関わりをする。  |                                 |                                 |
| 家庭の連携            | 3. 本児の不安や甘えたい気持ちを受け止めながら遊びに誘ったり、母も安心して仕事に向かえるように配慮していく。<br>・咳や鼻水などの症状が見られているため、早めの受診を進めたり、十分な休息を取れるように声を掛けていく。   | 3. 園での本児の遊びの様子について、具体的にイメージしてもらったり、家庭でも話題が広がるように伝えていく。<br>・トイレトレーニングについては、本児の意欲を大切にしながら家庭と連携を取りながら進めていく。   |                                 |                                 |
| 評価・反省            | 1. 保育者が繰り返しうがいの見本を見せたり、絵でやり方を示すことで少しずつガラガラうがいができるようになっている。引き続き、手洗いやうがいの仕方が身に付くように援助していきたい。<br>2. ごっこ遊びでは好きなキャラクターになりきり、「こっちにいくぞ」「負けないぞ」等、言葉を掛け合って友だちと楽しむ姿が見られた。遊びの様子を見守りながら、さらにイメージを広げていけるように関わっていきたい。 | 1. 自分から尿意を知らせ、トイレでの排尿が成功することが多かった。保育者に褒められるととても嬉しそうにし、自信に繋がったようである。引き続き、意欲を大切にしながらトイレトレーニングを進めたい。<br>2. 楽しいと感じた遊びには積極的に参加していたが、使っていた道具をそのままにしていることが多かった。片付けをしてから、次の遊びに移ることを知らせていきたい。                                 |                                 |                                 |

無料版：2名分  
↓  
有料版の  
"おまもりプラス"  
は12名分が  
閲覧 & DL可能！

子どもの姿の1, 2は『内容/ねらい/環境構成・配慮・援助』、3は『家庭との連携』と連動しています。

敬称と性別表記: ウェブサイトに当社方針を記載しております。